



4月28日、旧上田小学校をカフェ、宿泊できるゲストハウス、予約制の美容室を備えた施設に再改装した「ウエダビレッジ」がオープンしました。地域活性化団体をはじめとした地元の人達と施設を運営するために他地域から来た人達が手を取り合って、去年の夏から準備を進めてきました。カフェは元職員室、ゲストハウスは元音楽室、美容室は元校長室で、それぞれが少しづつ印象を残しながら生まれ変わりました。



新たに生まれ変わった校舎前でテープカット

4月21日、クリエイト菅谷内の美甘ドーム裏側（旧放牧地）で山焼きが行われました。戦後、家畜用の牧草の採取のため山焼きが行われてきましたが、家畜の飼育数減少や担い手不足のため途絶えていました。一昨年から地元地域資源の活用と伝統文化の継承などを目的に、地域住民などの協力により復活。約2・7㌶の面積を2時間程度で焼き、見学に訪れた参加者も目の前に広がる炎に歓声を上げながら見守っていました。



パチパチと音を立て勢いよく燃え上がる炎

地域資源活用を目指して 『美甘「山焼き復活プロジェクト』



北房まちの駅「AZAEセンター」から出発

4月19日、皆部商店街の空き家を改修した北房まちの駅「アザエセンター」がオープンしました。同施設には、30年以上空き家だった貸本屋を改修したA棟と、5年以上空き家だった自転車屋を改修したB棟があり、宿泊や休憩が可能です。今後、北房地域の滞在や周遊観光の拠点として運営されます。初日の宿泊客は、北房の伝統行事「お大師めぐり」の調査にやってきた岡山商科大学の教授や学生などでした。

滞在や周遊の拠点施設 北房まちの駅「AZAEセンター」オープン

4/21 真庭で川柳の腕を競う

久世公民館で第53回真庭川柳大会が開催され、県内外から多くの愛好家が集まりました。読み上げられる句を聞き、真剣にメモをとる姿が見られたり、ユーモアあふれる句に笑い声が起きました。



4/24 ミニパプリカの普及を目指して

真庭高等学校久世校地の生徒が育てたミニパプリカの苗が、市内農家や真庭農協などに引き渡されました。同校では、引き続きミニパプリカの栽培を続けるとともに、活用方法を模索していきます。



4/25 地域の世話役努力惜しまず

宮本徳重さん（月田）が4月25日に百歳を迎られました。今まで地域の役員などをいろいろと引き受けたところです。長生きの秘訣は、好奇心旺盛であること、何でもよく噛んで食べることだそうです。



5/2 自分の宝物が誰かの宝物に

こどもりサイクルマーケットが真庭あぐりガーデンで開かれました。子どもたちは、捨ててしまうとただのゴミになってしまうものが、買ってもらった誰かの宝物になるリサイクルの大切さについて学びました。



5/19 富原でお茶娘が新茶摘み

富原地区で新茶の時期にあわせて富原お茶まつりが開かれました。富原小学校の5・6年生の女子児童7人が、かすりの着物に茜色のタスキを掛けたお茶娘に扮してお茶の若葉を摘み取りました。



願いが込められた護摩木が護摩壇にくべられます

5月3日、禾津の義民の丘で「山中一揆義民まつり」が行われ、義民の子孫にあたる人など約50人が参列しました。まつりは地元の有志でつくる山中一揆義民顕彰会が、享保11年（1726年）、当時の津山藩の庄政に耐えかね、山中一揆を起こした農民たちをしのんで、処刑された命日の翌日に行っています。参列した人々は、護摩壇の燃え上がる炎を眺めながら義民たちに思いをはせていました。

**義民の思いを次代へ
山中一揆義民まつり**



気ままな牛は度々農作業を休みます

蒜山下長田の長田神社で5月5日、五穀豊穣と氏子の繁栄を願ったお田植祭が行われました。長田神社の拝殿では菖蒲の葉を頭につけて牛に扮した氏子と百姓頭と呼ばれる氏子が木製の農具の模型を使って農作業を演じました。途中、牛が立ち止まつたりよそ見をして農作業が中断するたびに百姓頭が叱る演出をし、参列者の笑いを誘っていました。お田植祭の占では稻作はまずまずの収量、出産は安産という結果でした。

**牛と百姓頭を演じて祈願
長田神社お田植祭**

ほぐぼう ホタルの里

備中川とその支流では、地元住民の保存活動によってホタルの大乱舞を見る事ができます。北房地区では6月を「ホタル観賞月間」として、商店街イベントやHOTARU Fesなどホタルに関するイベントが催されます。

ホタルのタベin北房

6月8日(土) 夕暮れ時～午後10時
会場:皆部商店街

HOTARU Fes

6月15日(土) 午前11時～午後8時
会場:北房文化センター、コスモスドーム

備中鐘乳穴 ヒメボタル観賞会

[6月]29日(土)、30日(日)
[7月]6日(土)、7日(日)

夏の風物詩 ホタルの舌舞

優しく幻想的なホタルの光は、私たちの心を癒してくれますね。

真庭市にはゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルなどが生息し、北房などの南部で6月上旬から、蒜山などの北部では7月上旬まで乱舞を見ることができます。

ホタル観賞はもちろんのこと、環境の事も考えるきっかけとしてこの時期だけの光のショーを見に行ってみませんか。

歴代の担当者や取材先で話を聞くと、この編集後記は人気口一ナ一。ですが、今月も発行できました。自分の知らないところでも日々汗を流す人の存在を知り、己の気持ちも引き締まります。仕事に関してはまだ至らぬところばかりですが、皆さんと共に成長し、共に頑張つてい所存です。

総合政策部秘書広報課に異動となり、1ヵ月半ほどが経過しましたが、この間、真庭を盛り上げようという熱い思いを持った多くの人に出会うことができました。自分の知らないところでも日々汗を流す人の存在を知り、己の気持ちも引き締まります。仕事に関してはまだ至らぬところばかりですが、皆さんと共に成長し、共に頑張つてい所存です。

旭川・りんぐるラインのオーピニングイベントに、自分の自転車を持参しました。参加者を追いかけて、臨場感あふれる写真を撮影しようと試みたのであります。しかし、参加者の皆さん、想像以上のハイペース。私は、みると置いていかれ、写真を撮るどころか、追いつくことがえできない始末。勝山駅を出発し、久世駅に着く頃には、ひとりぼっちになっていました。嶋田

かバキッ!!
●編集後記



この広報紙は、環境にやさしい植物油インクを使用しています。



この印刷の一部には、水質保全に有効な水なし印刷方式を採用しています。

この広報紙は、再生紙を使用しています。

皆さん
佐野